

魚津市定例記者会見 9月

日時：平成26年9月2日（火） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、富山テレビ、KNB、チューリップテレビ、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会次長、企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 8月の振り返り

①第44回じゃんとかい魚津まつり

今年もたくさんの皆様の参加でたてもんや花火大会、街流しが開催され観光客も大勢だった。天候にも恵まれ無事に終了することができた。

②2014TJAR（トランスジャパンアルプスレース）

第7回となる今回初めて魚津市で実行委員会を立ち上げ応援した。スタート当日は台風の影響もあり、コースも一部変更されたが、北アルプス・中央アルプス・南アルプスを縦断する壮大なレースで参加者の半数が完走できた。魚津市がスタート地点だということも全国に浸透していけばよい影響もでてくるのではと期待している。

③第28回全日本大学女子野球大会

22チームが参加し、8月23日～28日まで熱戦が続いた。ベスト4以降の試合は好ゲームが展開されていた。毎年魚津に来るのが楽しみだと話してくれる選手が何人もおられて大変うれしく感じている。

④ 魚津市消防団消防音楽隊発隊式

かねてから準備を進めていた消防音楽隊の発隊式が8月30日にあった。吹奏楽の経験者37名で構成されており、音楽を通じた啓発活動を展開していく。

⑤立山黒部ジオパークの認定

民間と行政が協働して積極的に取り組んでいた立山黒部ジオパークが、8月28日に日本ジオパークの認定を受けた。9月下旬に長野県伊那市で行われる認定式で正式に認定証が交付されることになっているが、富山県東部地域の豊かな自然や特殊な地形等も含めジオパークとして評価をいただき大変良かった。魚津市単独でもかなり前から取り組んでいたが県東部全体の取り組みへと広げこのような結果につな

がった。市の学芸員もこれを励みに更に調査研究活動に取り組むよう期待している。

(2) 9月市議会定例会

9月4日開会し会期は24日までの21日間。大きい中身は7月の豪雨での災害復旧費であり、この秋から本格的に復旧事業が動き出す。一般会計の補正予算額13億円余りの大部分が災害復旧費となっている。

(3) 魚津市総合防災訓練

9月28日に桃山運動公園を会場に魚津市総合防災訓練を実施する。7月に大きな自然災害があったことから市民の皆さんに真剣に訓練に取り組んでほしいと思っている。今年は魚津市西部地域の山地で災害が発生したという想定で、上中島・松倉・上野方地区の住民の皆さんを中心に参加いただく。

(4) 魚津市イメージキャラクター「ミラたん」がゆるキャラグランプリ2014にエントリー

本日(9/2)からゆるキャラの人気投票、ゆるキャラグランプリ2014が始まった。投票期間は10月20日まで。魚津市のミラたんにぜひ投票をお願いしたい。

(5) 千葉ロッテマリーンズ石川歩投手後援会

魚津市出身で千葉ロッテマリーンズの石川歩選手の後援会が発足する。後半戦も活躍すれば新人王も夢ではないということもあり、応援をしていく。

(6) その他

北陸新幹線の開業日が来年3月14日と発表され、9月からはスピードを200km台まで上げて試験走行が行われると聞いている。魚津市にとっては並行在来線の運行も大事な課題なので取り組みを進めてまいりたい。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「7月の豪雨災害関連」

《記者からの質問》

7月豪雨の災害復旧費は、最終的にいくらほどか？

《回答》

9月補正予算では、市道関係の被害が33路線54か所で約3億2,000万円、農林関係は被災箇所532か所で約6億4,400万円を計上している。これらは9月16日から災害の査定を受けたあと復旧工事に着手していく。完了時期のめどは道路関係が27年3月下旬までに、農林関係は箇所も多いので遅くとも来年11月までにとしている。このほかに7月22日付で専決した災害復旧費1億1,000万円を含め総額で約10億円になる。

《記者からの質問》

避難勧告・避難指示の判断基準を見直す考えはあるか？

《回答》

7月の豪雨で最も激しく降っていた時間帯が深夜だったことから、現場に出ているのは消防職員が中心だった。また災害が発生するおそれのある地区の区長会長には電話連絡をし、避難の可能性のあることを伝えていた。あの状況で住民が避難をすると二次災害の危険性もあるので、できるだけ現場の状況を確認するよう努めていた。東山、蛇田では区長さんの判断で公民館へ自主避難されたが、こういった情報も逐次得る中で、地区全体に避難指示・勧告を出すような状況ではなかった。二次災害を防ぐ意味でも勧告等はしなかった。

これまで、災害というと地震災害を想定して避難所の指定などもしてきたが、すべての災害に同じ対応をするのではなく、遠方の指定避難所より町内にある会館（類似公民館）に避難したほうが良いという事態もあることを今後知らせていきたい。

「北陸新幹線開業に関して」

《質問》

北陸新幹線の開業日、停車駅などが発表された。魚津市の玄関口となる黒部宇奈月温泉駅に「かがやき」は停車しないが、県東部が連携して停車を求める動きはないのか。

《回答》

今のところそういった動きはない。県東部では議会も含めこの発表を冷静に受け止めておられるように思う。むしろ並行在来線の利便性確保について連携して取り組むことが意識されているのではないか。

《質問》

新潟県糸魚川市以西から富山県へ通勤・通学するような県境の流動については各県の三セク会社の協議も含め対応が進んでいないように思うが、利便性の確保をどのように訴えていく考えか？

《回答》

できれば富山～糸魚川間の乗り入れができないかということを経営して申し上げていくことになるだろうが、県レベルでもっと踏み込んだ協議をしてほしいというもどかしさもある。